

# 8月の農作業

平成20年8月8日  
J A テ ラ ル 越 前  
奥越農林総合事務所

## 今月のポイント

- ★間断通水の励行
- ★病害虫防除の徹底  
(穂いもち、カメムシ、イネアザミウマ)
- ★早生の適期刈り取り
- ★そばの播種作業
- ★ナス・ネギ・ミニトマト・ほうれん草
- ★菊・シンテツポウユリの収穫
- ★夏蒔きインゲンの間引き
- ★ナスの摘芯
- ★花卉の病害虫防除

## 1. 今後の気象予想 (新潟地方気象台)

北陸地方 1か月予報

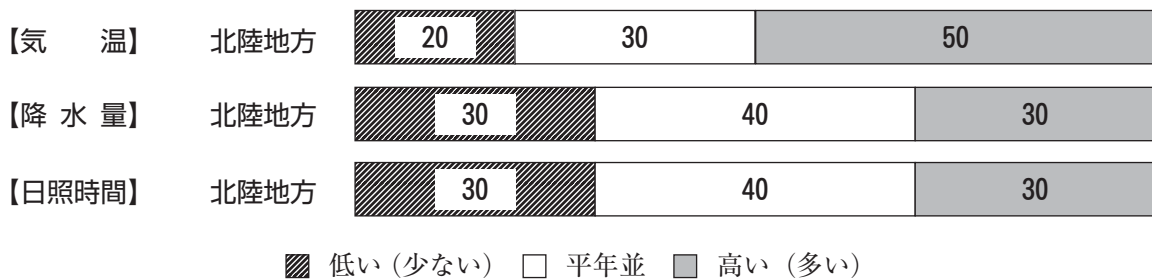
〈8月2日から9月1日までの天候見通し〉

### 〈予想される向こう1か月の天候〉

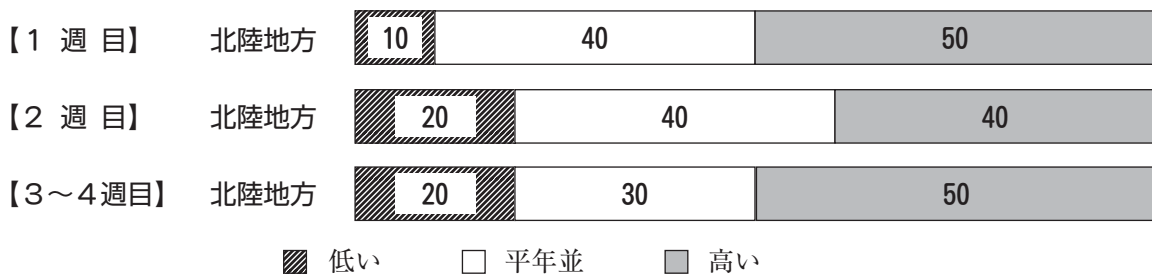
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。向こう1か月の気温は高い確率50%です。週別の気温は、1週目は高い確率50%、2週目は平年並または高い確率ともに40%、3週目は高い確率50%です。

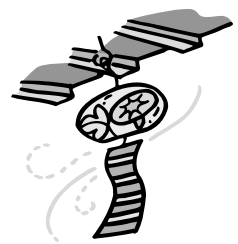
### 〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)〉



### 〈気温経過の各階級の確率(%)〉



〈予報の対象期間〉	
1 か月	: 8月2日(土) ~ 9月1日(月)
1 週目	: 8月2日(土) ~ 8月8日(金)
2 週目	: 8月9日(土) ~ 8月15日(金)
3~4週目	: 8月16日(土) ~ 8月29日(金)



# 北陸地方3か月予報

8月から10月までの  
天候見通し

〈予想される  
向こう3か月の天候〉

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

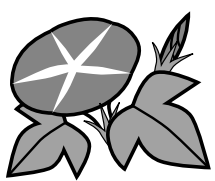
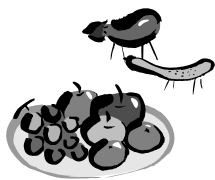
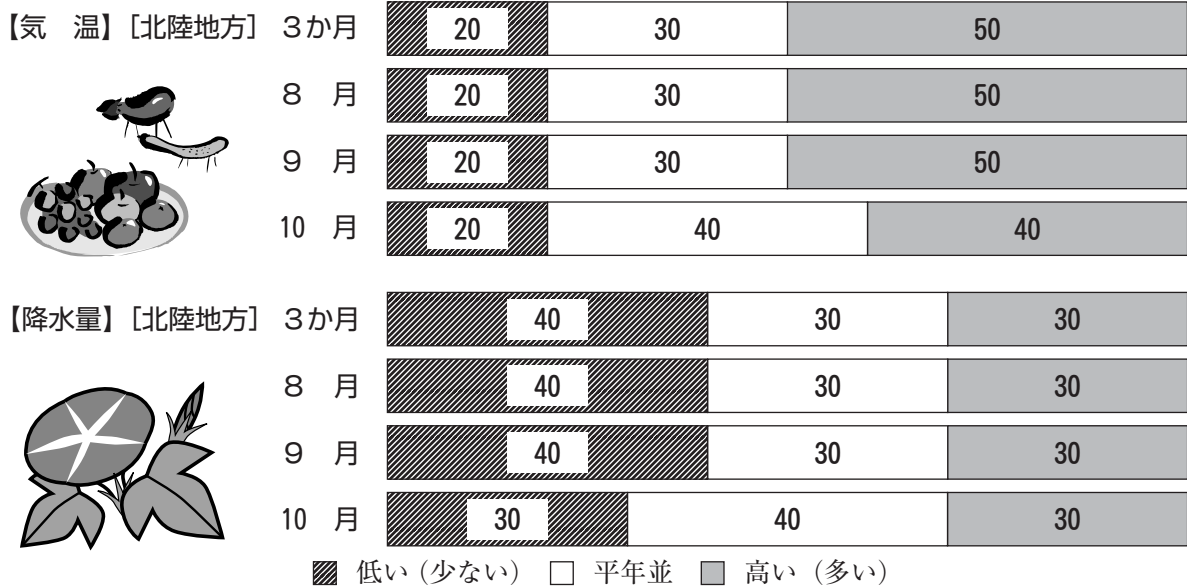
この期間の平均気温は高い確率50%です。

8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は高い確率50%です。

9月 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は高い確率50%です。

10月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は平年並または高い確率ともに40%です。

## 向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)



## 2、農作物対策

### 水 稲

#### 水管理・病害虫防除の 管理徹底を：

今年の稲の生育は、早生・中生とも草丈は平年並や短く、茎数は平年並の状況ですが、圃場間による差も見受けられます。

適期収穫期を判断する意味からも、出穂期を確認しておいてください。

今後は、水管理・病害虫防除に万全をきして良食味米生産に努めましょう。

#### 水 管 理

- 1、登熟向上のため、3日以上湛水は避け、間断通水によって根を健全に保ち登熟歩合を高め、千粒重の向上を図りましょう。
  - 2、台風やフェーン現象の時は水分の蒸散が激しく、登熟や品質が悪くなるので、湛水管理により水分補給を行ってください。
- また、褐変病による茶米の発生

防止のため、台風通過後は直ちに落水するとともに、ブラシ粉(収穫21日前まで)で防除してください。

3、早期落水は、胴割米・死米・腹白米等の発生原因となり、品質低下を招きますので、落水時期は、早生で5日前、中生で7日前を目安に間断通水に努めましょう。

※とくに一発肥料を使用した圃場では、土壌の水分不足により肥効が極端に低下しますので、前記の水管理を徹底してください。

#### 刈り取り予想

今年の稲の生育は、例年並や遅い事から、現在の刈り取り予想は五百万石の出穂期7月20日は8月25日前後からの刈り取り、コシヒカリでは出穂期8月2日では9月12日前後からの予想ですが、今後の天候により変わりますので注意してください。

#### 適正な乾燥調整

良食味米生産の最後の仕上げです。過乾燥に注意し、水分14.5～15.0%

に仕上げてください。また、初高は検査規格から外れ、再調整となりますので、十分に吟味してください。

## ※水稻栽培日誌の 記帳提出について

早生品種………8月11日まで  
中・晩生品種………8月25日まで  
各支店まで提出してください。

## そ ば

そばは湿害に弱いので、排水を良くし碎土・整地に心掛け、初期生育の均一に努めましょう。

1、播種量 10アール当たり5kg  
(条播、散播とも)

2、元 肥

アラジン7kg/10aまたは

テラルのもとさん10kg/10a

3、播種時期

平坦地 8月15日から20日

中山間地 8月10日から15日

4、発芽を促進させるため、播種

後トラクターによるロータリーでかく拌しふく土とする。  
5、播種後は、うね間への入水をしな

## 里 芋

### 水 管 理

晴天続きの時は、3〜4日おきに夕方地温が下がった時に畝間灌水を行う。長時間の滞水はさせない事。※水による肥料吸収効果で生育や収量が大きく左右される。

### 子ズイキ刈り込み

本葉7枚目以降より、子芋の栄養成長が盛んになり、子ズイキが発生する。放置しておくとしらになり品質が落ちるので、2〜3葉期までに必ず刈り込みを行う。

### 土 寄 せ

この時期より親芋の肥大が盛んになり、子芋の形成が始まるため、浅植えとなった所は日焼け芋など品質が悪くなるので、株元を中心に土寄せをする事。

### マルチの裾まくり

梅雨明け後、マルチの裾をまくり水分を蒸散させ、畝の空中湿度を保ちハダニの発生を抑える。

## ナ ス

### 切り戻し剪定

側枝の第1花の蕾が大きくなったら、花上1葉を残して摘芯して、ナスの収穫時に切り戻しを行い、以後これを繰り返す。

夏季の樹勢が弱いときには変形果等を早めに摘果すると良い。

### 追 肥

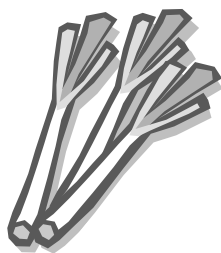
8月は1週間おきに、9月に入れば10日前後で追肥する。

## 白 ネ ギ

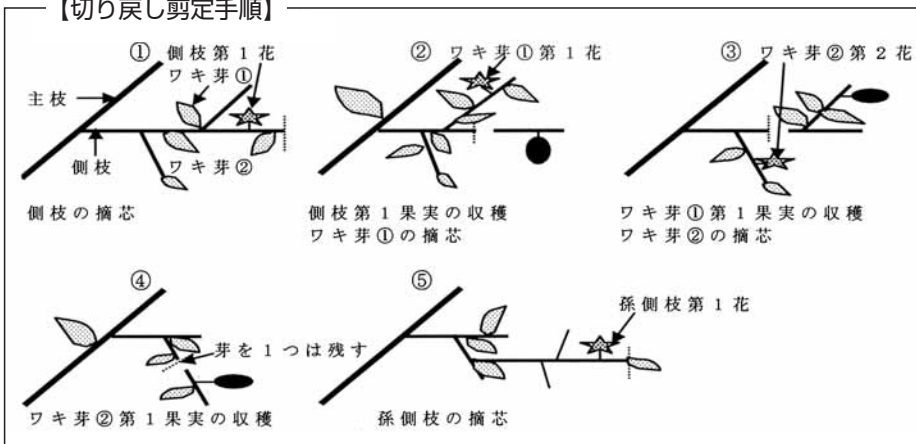
### 土 寄 せ

土寄せは地温が下がった夕方実施する。

高温時(7月下旬〜8月中旬)の追肥・土寄せは、軟腐病の原因となるので控える。



### 【切り戻し剪定手順】



# 花卉

## キク

8月は出荷作業に追われ、病害虫防除がおろそかになりがちです。注意してください。また、8月後半(20日頃)には、暮れ植え用の苗作りもしなければなりません。計画的に作業しましょう。

### 6・7月咲きの管理

#### ○切り残したキクの処理

収穫が終わった夏ギク圃場でも、除草や病害虫防除も行いましょう。また、切り残した花は放置せず、圃場外へ持ち出し、処分しましょう。病害虫の巣窟になってしまいます。

#### ○古株の切り戻し作業

収穫の終わった古株が長く伸びているので、約3cm位残して、地際近くまで切り戻す。

#### ○親株の追肥

花を切り終えた後、そのまま伸びていたり、切り戻しをしたりで、株も根もかなり弱っています。切り戻し作業が終わったら、すぐにOKF1の300倍液で力をつけておこう。その後、すぐに苗作りのための肥料を施す。

有機ペレ 5kg または  
そ菜3号 2kg

(いずれも畝30m当たり)  
\*そ菜3号については、2kgを一度にやると、キクの根を痛める場合もあるので、2回に分けて施す。

#### ○土寄せ作業

新芽が出て、かなり伸びてきたら、新芽の付け根あたりまで土寄せする。土を掛けることで新芽の付け根から新しい根が出てくる。また、新芽の付け根を暗くすることで発根が促されます。

土の代わりにモミガラを、新芽の頭からかけて付け根あたりを暗くすることでも根がでけます。ただし、モミガラで発根させると根は粗くなります。

#### ○発蕾防止と伸長防止

土寄せした後、すぐにエスレルの200倍液を散布しておく。エスレルを散布することで、発蕾防止・伸長防止にもなり、良苗作りにつながります。

### 9月咲きの管理

○出蕾期に入り中輪ギクでは摘蕾作業を行います。早めの作業を心がけてください。

○Bナイン(ホルモン剤・伸張抑制・800〜1000倍)は最も早い蕾が確認できた時と摘蕾時に1回ずつ散布します。

### 10月咲きの管理

○病害虫防除の徹底に努めます。病害虫防除  
管内ではすでにダニの発生が見受けられます。発生状況に応じた防除を行いましょう。

○ダニ  
ダニは葉裏に生息していますので、防除はノズルを上向きで丁寧に散布します。

ダニは抵抗性がつきやすいので、異なる系統の農薬をローテーション散布します。

▼主な使用農薬  
(卵・幼虫)  
オサダンフロアブル・テデオン  
乳剤・ピラニカEWダニカット乳剤  
(卵・成虫)  
カネマイトフロアブル(出蕾時に散布すると葉害の恐れあり)・マイトコネフロアブル・ビルク水和剤

○黒斑褐斑・灰色カビ病  
▼主な使用農薬  
ジマンダイセンフロアブル・ダコニール1000・ベンレート水和剤・ゲッター水和剤など

○スリッパス(アザミウマ類)  
蕾の中にスリッパスなどが入りますと防除が困難になり品質が低下しますので、開花の早い品種から防除を徹底してください。

▼主な使用農薬  
ジェイエース水溶性・トレボン乳剤・アドマイヤーフロアブル

○アブラムシ  
▼主な使用農薬  
ジェイエース水溶性・トレボン乳剤・アドマイヤーフロアブル

#### ▼主な使用農薬

ジェイエース水溶性・ハチハチ乳剤・コテツフロアブル・テルスターフロアブル

### スプレーギク

○8月の作業は、挿し芽・圃場の準備・定植を行います。その後、ピンチ(摘芯)を行います。

### ユリ

#### 病害虫防除

○葉枯病  
葉枯病が発生すると農薬を散布しても病気を抑えにくいので予防を徹底しましょう。

#### ▼主な使用農薬

ダコニール1000・フロンサイド水和剤・フルピカフロアブル・トップジンM水和剤

#### ○疫病

下葉が腐る症状

#### ▼主な使用農薬

リドミル  
○アブラムシ  
▼主な使用農薬  
ジェイエース水溶性・トレボン乳剤・アドマイヤーフロアブル



花の生産者を常時募集しております。特に暮れ植えキクおよびスプレーギクは今から定植準備に入りますので、興味のある方は各支店または営農特産課までご連絡ください。